

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第187号	氏名	福島慶子
学位審査委員	主査 由井克之 副査 山下俊一 副査 佐藤伸一		
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 自己免疫性膵島炎、糖尿病発症における自己反応性エフェクターT細胞と制御性T細胞との相互作用を調べたもので、目的は妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 1型糖尿病自然発症モデルのNODマウスを用い、インスリンペプチドとpoly I:Cの同時投与による膵島炎・糖尿病発症に関して、組織・細胞レベルの解析を行っており、妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 膵島局所における自己反応性エフェクターT細胞と制御性T細胞とのバランスが自己免疫性糖尿病発症に関わることを明らかにしており、十分に評価できる。</p> <p>以上のように本論文は自己免疫性糖尿病発症機序の解明に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			